

科目	地理研究	単位	2	対象	3 年 普通科文系
目 標	・世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境及び社会環 境と関連付けて理解させ、世界と日本を比較し多面的に考察させることによって、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 ・受験に対応できるように基礎基本・応用力を身に付けさせる。				
学習内容・他の科目との関連 ・自然地理・人文地理・地誌分野に分かれており、人間生活の営みと地理的事象の相互関連をとおして地理的な物の見方・考え方を学ぶ。 ・自然地理の気候や地形の分野は、地学との関連する分野がある。人文地理・地誌の産業や人種・民族・国家の分野では、公民分野または他教科と関連するところがある。					
学習のワンポイント・アドバイス ① 地理 B を学習するにあたって、自然分野では「何故・どうしてそうなるのか」という興味・関心を持つことが大切である。 ② 地理的事象を具体的な地域と結びつけ、事象や地域の相互関連を世界的な視野に立って考察するので地図帳や資料集を有効に利用する習慣を身に付ける。					
評価の方法 ◎ 次の（１）～（５）を総合的に判断して評価します。 ① 定期テスト，実力テスト，課題テスト，週末宿題，その他小テスト。 ② 授業中の発表内容がよくできているか，積極的に授業に取り組んでいるか。 ③ 授業のプリントや週末宿題などがきちんと提出されているか。 ④ 課題レポート ⑤ 遅刻、欠課等勤怠状況，日々の授業態度					
使用する教科書，教材等 ① 教科書（帝国書院出版「新詳地理 B」） ② 地図帳（帝国書院出版「新詳高等地図」） ③ 資料集（とうほう「新編地理資料 2020」） ④ 副教材（WIN STEP 地理 ベネッセ）					
進路との関わり ① 国公立大学受験者は大学入学共通テストで、各大学学部によっては地歴・公民分野から各 1 科目選択の場合もある。 ② 私立大学の受験で、地歴・公民は学部によって必修または選択必修になる。 ③ 国公立大学・私立大学の試験において「小論文」を課する大学が増えている。地歴・公民分野の出題が多い。					